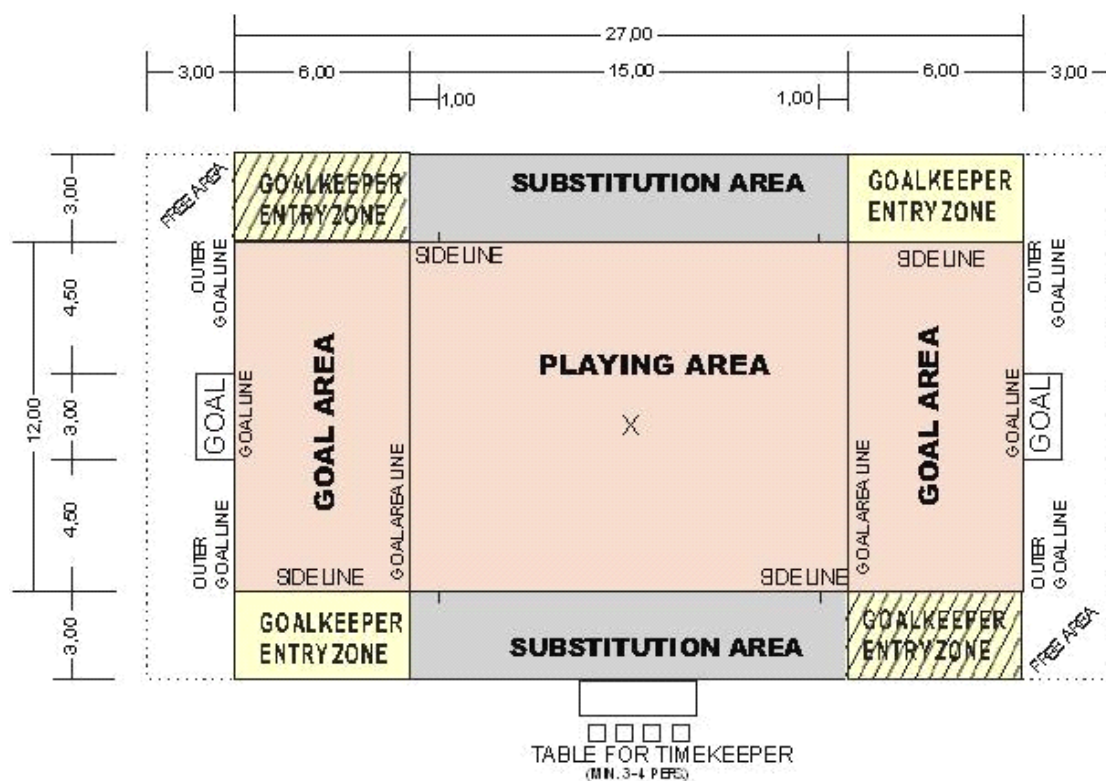


ビーチハンドのルール・作戦について

2011. 8. 6



【ビーチハンドのルール】

ビーチハンドはハンドボールのルールを元に、約十年前に誕生した新しいスポーツで、ヨーロッパを中心に盛んにプレーされています。ビーチハンドボール（以下、ビーチ）のコートはフィールドが12 X 27mで、コートに入れる人数は、ハンドボールが一チーム七人であるのに対し、ビーチは一チーム四人（参加登録は八人まで）で、そのうち一人（参加登録の八人中二人）はGKですが、ビーチの場合、GKもフィールドに出てきてプレーするのが通常です。ハンドボールでもGKはフィールドに出てこれますが、ゴールから離れすぎるのは常に命取りですよね。それでは何故ビーチではGKが出てこれるかと言いますと、鍵は選手交代にあります。ビーチでは各チーム、何れかのサイドラインの15メートルが全てフィールドプレーヤー交代可能なゾーン（図中灰色部 SUBSTITUTION AREA）となります。GKの交代については、チーム側サイドラインのどこからでも外に出られますが、コートに戻るのはゴールエリアのサイドライン（図中黄色斜線部の GOALKEEPER ENTRY ZONE）からのみとなります。

GKが攻撃に加わらずとも、3対3の状態ですが、GKが攻撃に加わる理由はGKがゴールを決めると二点というルールがあるからです。また、フィールドプレーヤーのゴールでも、スカイシュート（空中でキャッチして着地前にボールを手から離す）、ピルエットシュート（空中で一回転して着地前にボールを手から離すシュート）の場合は、二点となります。

ハンド経験者の方は、違和感の否めないコンセプトが多いのではないかと思います。プレ

一ヤーの基本的な動きはハンドボールの応用（4対3）です。また、室内ハンドボールと比べて、体力の消耗が激しいため、試合時間は前半・後半各10分でハーフタイム5分となっています。

【ビーチハンドの作戦例】

参考までに、Weeds!で今までに出場した際にとってきた作戦の例を記載します。ビーチの試合登録者は8人なので、交代しながら全員がゲームを楽しめるようにしています。

- ① まず8人のうちGKを二人選びます。この2人は他のメンバーと違う色のゼッケンを着ます。一人は主にキーパーとして、もう一人は主に攻撃の中心となります。GKの二人は普通のシュートでも2点になりますので、ノーマークになった場合は思いきりシュートを打ってOKです。
- ② 次に、攻守交替で交代しながら出場するメンバーを4人選びます。4人は2人ずつに分かれて、攻撃の人と守備の人でペアを組んでください。試合の際は、攻守が切り替わる都度、ペアの人が外に出るのを確認してから中に入ります。逆にプレー中に、攻守が切り替わった際は急いで外に出てください。すばやく交代するため、ポジションは交代ライン側（サイド（手前側）、センター、ポスト）をやるのが効率的です。ビーチハンドは、この交代のスピードが勝敗を左右しますので、交代はダッシュをお願いします。
また、この4人は普通のシュートだと1点のため、2点となるスカイ、ピルエットを狙ってもらって構いません。
- ③ 残りの二人は、攻守交替時も交代しない逆サイド（交代ゾーンから遠いサイド）となり、攻守交替時にボールをキープする役割を果たします。交代せずに試合に出続ける役割のため、前後半で代わる、時間を決めて半分ずつ出るなど、二人で時間を決めて交代してください。
この二人も2点となるスカイ、ピルエットを狙ってもらって構いません。

